

COURSE NEWS LETTER

いつも大変お世話になっております。

7月に高卒求人解禁となり、いよいよ高卒採用選考がスタートしますね。

大卒採用も長期休暇を利用してのインターンシップが佳境となっていると思います。

高卒・大卒・中途と多岐にわたり、お手伝いできることがございましたら、お声がけください。



いよいよ高卒採用がスタート！求める人物像を面接でどう見極める？

7月から高卒求人解禁となり、いよいよ高卒採用選考が始まります。

最近よく聞かれるのは「面接はコミュニケーションである」ということです。「丸暗記してきた回答を聞きたいのではない」「自分の言葉で会話ができる子がいい」などは、複数の企業さんから最近特によく聞かれます。

採用面接では、「本人に責任がないこと」や「本来自由であるべきこと」についてはNGとなっています。自己紹介してもらい、当社を志望した理由や高校生活で一番力を入れたこと、最も思い出に残っていることなどを聞いていき、学生のコミュニケーション能力や、チームワーク協調性、チャレンジ精神、リーダーシップの有無などを、そして応募者をしっかりと評価していきましょう。

面接で見るポイントはさまざまありますが、自分の会社が求めている人物像から設定することが大切です。

例えば、受付のマナーや、控え室での態度、身だしなみや、入室するときのマナー、面接中の姿勢は良いか、など質問の受け答えだけではなく、いろいろと見るポイントがあります。

他には、面接中の受け答えが明るくハキハキしているか、敬語が正しく使えているか、また使おうとしているか、適切な言葉遣いができているか、またそのように心掛けているか、入社を感じるか、などを見ていきましょう。

【注意事項】

- 全国統一の履歴書以外の書類提出を求めている企業はございません
- 就職差別にあたる質問はしてはけません(性別・出身地・経済状況、宗教、尊敬する人物など)



26卒大学生を獲得するためにインターンシップの後の繋ぎとめが大事です

「大学生を採用したいが、大学生がいらない」という声が企業の採用担当者から多く聞かれます。

現在の8月は、大学生のインターンシップが始まっており、県内の企業も大忙しのことと思います。インターンシップへの参加学生を集めるのも大変だとは思いますが、インターンシップ後に、26卒(現大学3年生)の大学生を選考まで繋ぎとめて採用するために、どんなことを他の企業は行っているのでしょうか。

インターンシップ後に 学生を選考まで繋ぎとめるために

- ・メールや電話かけ
 - ・インターンシップ参加者限定の懇親会開催
 - ・インターンシップ参加者限定のイベント など
- ※早期選考を見込んで、学生も積極的に参加するようです。

大学生のインターンシップとは

- ・セミナー形式(短期)
- ・課題形式(短期～中期)
- ・就業形式(長期)

※**インターンシップとして実施するには2日以上の日程が必要**で、旧来の1dayインターンシップは「1day 仕事体験」となり、2022年よりインターンシップと呼ぶことができなくなりました。

インターンシップには、26卒(現大学3年生)の他、早くも27卒や28卒の学生からも参加申し込みが来ている、との話も秋田県内企業の採用担当者の方から聞きました！学生の動きも早いですね～

7月31日に第3回秋田採用勉強会を行いました！

2024年7月31日に、「採用面接から二次募集までの基本の総復習！」と題して、オンラインにて第3回秋田採用勉強会を開催いたしました。

多くの企業様と特別ゲストとして秋田県内高等学校で実際に就職指導を行っている教員と就職支援員の方にご参加いただきました。誠にありがとうございます。

第一部では、高卒採用面接の基本や内定後のフォローの仕方、二次募集のポイントまで一気にまとめて総復習をいたしました。そして第二部では、特別ゲストの秋田県内高等学校で実際に就職指導を行っている教員・就職支援員の方を交えてグループごとに分かれて様々なテーマについて話し合い、情報交換を行いました。

例えば、高校の先生への質問には

Q 高校生の企業選択時期はいつ頃ですか？

- ・早い段階で自分の適性を理解し、希望する職種や企業を決めている生徒は多くありません。
- ・夏休みに入り、求人票を見ながら現在検討し、応募前職場見学に参加しているところ です。

Q 応募前職場見学に生徒を送り出す時に、学生に「ここを見てください」など指導していることは何ですか？

- ・自分が見学している企業で働く具体的なイメージを持って、自分が担当になる仕事、職場環境、雰囲気などを見てくるように話しています。
- など、情報交換が豊富に行われました。

今年中の採用勉強会の開催は今回で最後になりましたが、年明けに2025年の第一回を開催予定です。



COURSE2024 掲載企業を募集中!
COURSE
詳細は
お問い合わせ
ください

もっと詳しくは、
秋田採用サポートナビで！



秋田県の豆知識

今回は、大人の夏休みに楽しみたい、ご当地のビールです！飲みたいー！

Q1 1997年秋田県第1号地ビールとして誕生し、現在の仙北市で地域密着ミュージカルを上演する劇場を備える「あきた芸術村」の中で醸造されているクラフトビールは？

Q2 羽後町の築120年の古民家(現在はBAR)のみそ蔵をリノベーションした工場で、秋田の素材を使いながら、毎回100～120ℓほどの小ロットで醸造しているグラフトビールメーカーは？

Q3 醸造の際に海塩を加えることで微かな塩味をもたらし、さっぱりとした味わいが特徴のビール。男鹿市にある「女性鬼の冒険」という意味合いのあるこの醸造所は？

Q4 2018年に秋田県秋田市で醸造を開始した「ビール屋さん」。醸造所のBreweryと社長さんの大好物ブロッコリーBroccoliを合わせた造語という、このクラフトビールメーカーは？

1. 田沢湖ビール
2. 羽後麦酒
3. オクレスケッツ
4. BREWCOLLY(ブリッコリー)

TownJoho
あきたタウン情報
秋田の楽しいコト、みつけよう！

株式会社 あきたタウン情報 担当:中田
〒010-0952 秋田県秋田市山王新町1-29
Tel.018-838-1225 Fax.018-838-1077